

松戸市新焼却施設整備事業

落札者決定基準

令和8年1月

松戸市

目 次

I 総則	1
II 落札者決定の手順	2
III 参加資格審査	4
IV 基礎審査の方法	4
V 加点審査の方法	5
別添資料 提案内容に関する審査項目、審査のポイント、配点及び対応様式	7

I 総則

松戸市新焼却施設整備事業(以下、「本事業」という。)を実施する民間事業者には、施設の整備、運営に関する専門的な知識やノウハウが求められる。このため、事業者の決定にあたっては、提案内容(性能、機能、技術等)及び入札価格によって落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用する。

この落札者決定基準は、総合評価一般競争入札方式により落札者を決定するため、要求水準書等の内容について入札参加者から提出された入札提案書類を可能な限り客観的に評価する基準として示すものである。

Ⅱ 落札者決定の手順

1 参加資格審査

松戸市(以下、「本市」という。)は、入札参加者から提出される参加表明書及び参加資格審査申請書類により、入札説明書に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2 提案審査

(1) 提案内容の基礎審査

本市は、入札提案書類に記載された内容が、この落札者決定基準に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

(2) 提案内容の加点審査（内容点）

松戸市新焼却施設整備事業者選考委員会（以下、「選考委員会」という。）は、この落札者決定基準に示す加点審査の方法に従い、提案書類の加点審査を行い、内容点とする。なお、加点審査において、応募者によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施する。

(3) 開札及び入札価格の加点審査（価格点）

本市は、入札書に記載された入札価格が予定価格の範囲内であることを確認するとともに、当該金額から算出される入札価格に関する事項の得点を選考委員会に報告する。なお、入札価格が予定価格を超えている入札参加者は失格とする。

(4) 最優秀提案の選定

選考委員会は、非価格要素(提案内容)と価格要素(入札価格)の合計である総合評価点が最も高い提案を最優秀提案として選定する。

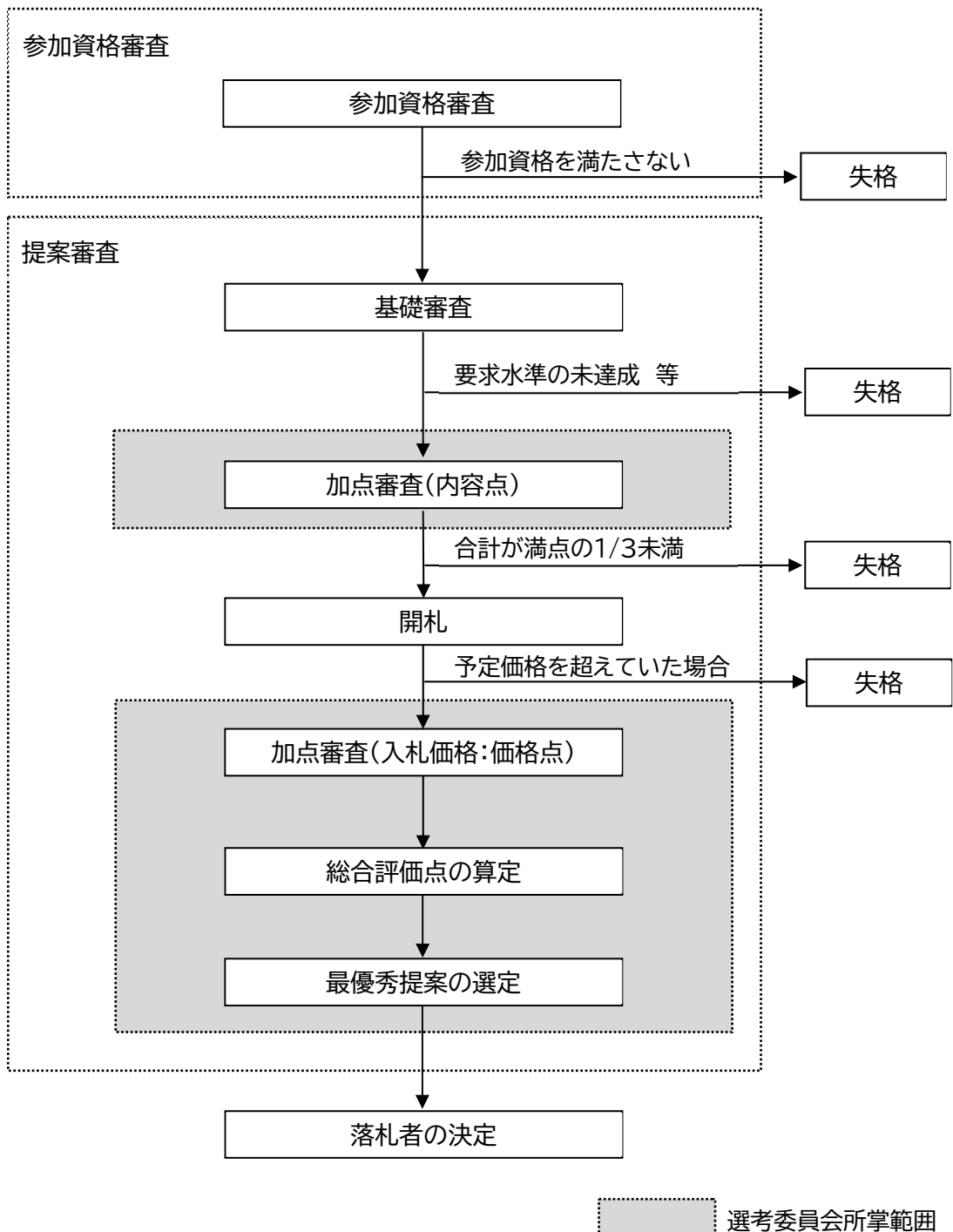
3 落札者の決定

本市は、選考委員会における最優秀提案の選定結果をもとに、落札者を決定し、入札参加者に結果を通知するとともに、本市ホームページにおいて公表する。

ただし、選考委員会が2以上の最優秀提案を選定した場合は、当該提案者にくじを引かせて落札者を決定する。

4 審査の流れ

上記 1～3 に示した審査の流れは、次の図に示すとおりである。



Ⅲ 参加資格審査

本市は、参加表明書と同時に提出される入札参加資格確認申請書から、入札説明書に記載した入札参加者の備えるべき参加資格要件について確認し、確認の結果を代表企業に対し通知する。資格不備の場合は失格とする。

Ⅳ 基礎審査の方法

1 審査方法

本市は、入札参加者から提出される入札提案書類について、以下に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

ただし、その内容が軽微で意図したものではなく、提案内容及び入札価格に大きな影響を及ぼすものでない場合には、当該提案を行った入札参加者に対して入札参加者の意思を確認し、当該入札参加者が入札価格の変更を行わずに当該箇所について要求水準が満たされることを条件に、当該入札参加者を失格にしないことがある。

審査対象	基礎審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none">・入札提案書類全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。・入札提案書類全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
提案書	<ul style="list-style-type: none">・当該提案に関する各様式（別添「様式集」参照）に示す項目に対する提案の内容が要求水準書等に反していないこと。・リスク分担に関し、特定事業契約書を構成する各契約書（案）で示したリスクの分担と齟齬がないこと。
基本設計図書	<ul style="list-style-type: none">・基本設計図書の内容が要求水準書等に反していないこと。

V 加点審査の方法

1 審査方法

加点審査においては、次の各審査項目について提案内容及び入札価格を得点化し、得点の合計値を総合評価点とする。

審査項目 (大項目)	審査項目 (小項目)	配点
1. 安全・安心で 安定処理する 施設	①工期遵守、工事期間中の安全対策	3点
	②事業実施体制	2点
	③施設供用中の安全対策	3点
	④施設の安定稼働	3点
	⑤リスク管理（特に留意すべきリスクとその対策）	2点
	⑥モニタリング計画	2点
	小 計	15点
2. 周辺環境保全 に配慮した施 設	①施設稼働に伴う環境保全対策、その他環境負荷の低減策	3点
	②周辺環境に配慮した施設の計画配置	3点
	③地域コミュニティの創出	3点
	小 計	9点
3. 循環型のまち づくりに寄与 する施設	①脱炭素対策（CO ₂ 削減、エネルギー回収向上）	3点
	②脱炭素対策（省エネルギー）	3点
	小 計	6点
4. 環境学習・啓 発を行う施設	①環境学習機能・取組の充実	2点
	②市民啓発・交流促進に資する取組	2点
	小 計	4点
5. 災害対策の拠 点となる施設	①施設の強靱化対策	3点
	②フェーズフリー型地域防災機能	3点
	③円滑な災害廃棄物処理体制	2点
	小 計	8点
6. 経済性に配慮 した施設	①維持管理の効率化と長寿命化対策	2点
	②効率的な運営体制と財務計画（長期収支の安定性）	2点
	小 計	4点
7. 地域貢献に資 する施設	①地域経済への貢献	2点
	②地域住民への情報提供	2点
	小 計	4点
1～7の計（提案内容に関する審査項目）		50点
8. 入札価格に関する事項		50点
合 計		100点

※各審査項目の詳細な評価基準は別添資料を参照のこと。

2 提案内容の得点化方法

選考委員会は、入札提案書類に記載された内容について、要求水準書等に示す要件を超える部分に対して、別添資料を踏まえ、評価項目ごとに評価を行い、提案内容に関する審査項目の得点化方法に示す5段階評価に基づき各選考委員が個別に評価を行い、評価に関して議論を行った上で再評価を行い、その平均値を得点として付与する。審査項目ごとの得点について小数点第3位以下が生じた場合には、小数点第3位を四捨五入する。

なお、内容点が最低点（内容点の満点の1／3の点数）を満たすことが出来なかった場合は失格とする。

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れており、提案内容に大きな期待ができる	配点×1.00
B	AとCの間である	配点×0.75
C	優れており、提案内容に期待ができる	配点×0.50
D	CとEの間である	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	配点×0.00

3 入札価格の得点化方法

入札価格に関する事項については、次の方法により得点を付与する。

$$\text{入札価格に関する得点} = 50 \text{点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$$

別添資料 提案内容に関する審査項目、審査のポイント、配点及び対応様式

審査項目、審査のポイント		配点	対応様式※ 及び上限枚数
1. 安全・安心で安定処理する施設 安全・安心で安定した処理が実現できる施設とする。		15点	—
① 工期遵守、工事期間中の安全対策	ア 工期を可能な限り短縮するための工夫について優れた提案があるか。 イ 工期を確実に遵守するための工夫について優れた提案があるか。特に令和9年度中の本体工事着工のための具体的な提案があるか。 ウ 工事中の安全対策について優れた提案があるか。(具体的に想定される事故を挙げて、その対策を示すこと。)	3点	第9-1号様式 (2枚)
② 事業実施体制	ア 円滑な設計建設業務の履行に資する体制構築について優れた提案があるか。 イ 長期的、安定的な事業運営のための事業実施体制(技術者の配置や連絡体制、緊急時対応等)について優れた提案があるか。	2点	第9-2号様式 (1枚)
③ 施設供用中の安全対策	ア ごみピット火災への対策として、発生防止・延焼防止・早期発見・早期消火や防災訓練等に対する優れた提案があるか。 イ 施設供用中の動線(車両・人)の工夫(自己搬入者を含む搬入搬出車両の安全対策、作業員及び見学者対応の安全対策、多目的広場利用者の安全対策)について優れた提案があるか。 ウ 運転管理上の安全確保の工夫について優れた提案があるか。	3点	第9-3号様式 (2枚)
④ 施設の安定稼働	ア 搬入禁止物混入防止について優れた提案があるか。(①受付時の対策、②投入前・投入時の対策、③啓発の3点から対策を示すこと。) イ ごみ量及びごみ質の変動に対する工夫について優れた提案があるか。 ウ AI技術やDX等による最新技術を活用した安定稼働に資する優れた提案があるか。	3点	第9-4号様式 (2枚)
⑤ リスク管理(特に留意すべきリスクとその対策)	ア リスク管理の基本的な考え方(管理方針及び体制)について優れた提案があるか。 イ 本事業に伴う主要リスクの認識とその対策(特に留意すべきリスクの内容及びその回避又は軽減策、保険活用等)について優れた提案があるか。 ウ 事業期間中にわたり安定して事業が継続できるサポート方法(継続的なモニタリングによる健全性の確認、問題発生時の対応等)について優れた提案があるか。	2点	第9-5号様式 (1枚)
⑥ モニタリング計画	ア 市が実施するモニタリングが円滑に実施されるための工夫(市の負担軽減、透明性の確保)について具体的な提案があるか。 イ 事業の安定的かつ確実な実施に当たり、確実に機能し継続的な業務改善に資するセルフモニタリング体制の構築と実行について優れた提案があるか。	2点	第9-6号様式 (1枚)

審査項目、審査のポイント		配点	対応様式※ 及び上限枚数
2. 周辺環境保全に配慮した施設 周辺環境に配慮し、地域と市民生活の調和を実現する施設とする。		9点	—
① 施設稼働に伴う環境保全対策、その他環境負荷の低減策	ア 公害防止基準を遵守するための排ガス及び排水中の有害物質の低減について優れた提案があるか。 イ 管理棟や見学者ルートへの臭気・粉じんの流入防止対策、騒音・振動対策について優れた提案があるか。	3点	第10-1号様式 (2枚)
② 周辺環境に配慮した施設の計画配置	ア 施設の立地環境や特性を踏まえ、周辺の緑地や街並みに溶け込むことに配慮した計画配置について、優れた提案があるか。 イ メンテナンス性、耐久性に配慮しつつ、周辺住宅地との景観調和や圧迫感軽減を図るデザイン（居住環境に配慮したデザイン）について、優れた提案があるか。	3点	第10-2号様式 (2枚)
③ 地域コミュニティの創出	ア 廃棄物処理施設と多目的広場の一体整備において、地域利用と施設連携による回遊・賑わいの創出を考慮した施設の計画配置について、優れた提案があるか。 イ 地域コミュニティ活動をはじめとする地域との関わりしるを生み出す柔軟性のある空間（広場・交流スペース等）の創出について、優れた提案があるか。	3点	第10-3号様式 (2枚)
3. 循環型のまちづくりに寄与する施設 ゼロカーボンシティの推進をはじめ、循環型のまちづくりに寄与する施設とする。		6点	—
① 脱炭素対策（CO ₂ 削減、エネルギー回収向上）	ア 二酸化炭素排出量低減について優れた提案があるか。（第11-3号様式には売電電力量、廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量を示すこと。） イ エネルギー回収率向上のための対策について優れた提案があるか。（第11-3号様式には発電電力量を示すこと。）	3点	第11-1号様式 (2枚)
② 脱炭素対策（省エネルギー）	ア 施設内でのエネルギー使用量低減の対策について優れた提案があるか（想定するものを複数示した上で、それぞれの対策による効果（導入しない場合と比較した概ねの削減率や削減量等）についても示すこと。なお、第11-3号様式には太陽光発電量を示すこと。）	3点	第11-2号様式 (2枚)
4. 環境学習・啓発を行う施設 市民の環境学習及び啓発に活用できる施設とする。		4点	—
① 環境学習機能・取組の充実	ア 将来を担う子ども達を含む来訪者が、施設見学を通してごみ処理などの環境問題に理解を深められる仕掛け（展示・ICT活用・体験プログラム等）について、ごみ処理施設に対する好印象（管理棟や見学者ルートの中のデザイン等）を抱けるような、優れた提案があるか。 イ 事業期間におけるトレンドや社会的要求の変化等を踏まえた展示内容の定期的な刷新等、常に最新の情報を提供するための取組について優れた提案があるか。	2点	第12-1号様式 (1枚)
② 市民啓発・交流促進に資する取組	ア 市民が環境活動に関心をもち、行動につながる仕掛け（イベント・ワークショップ等）について、優れた提案があるか。 イ 社会情勢や法改正、来場者のフィードバックに応じて、情報や機能を柔軟に更新できる仕組みについて、優れた提案があるか。	2点	第12-2号様式 (1枚)

審査項目、審査のポイント		配点	対応様式※ 及び上限枚数
5. 災害対策の拠点となる施設 災害に備え地域の防災拠点として機能する施設とする。		8点	—
① 施設の強化対策	ア 施設の地震・浸水などの自然災害に対し、ハード（構造・設備）とソフト（運用・マニュアル）の両面で強化を図る優れた提案があるか。 イ 災害時における復旧手順、代替設備、人員体制など、事業継続計画（BCP）を含む迅速な処理再開策について、優れた提案があるか。 ウ その他、施設の強化について優れた提案があるか。	3点	第13-1号様式 （2枚）
② フェーズフリー型地域防災機能	ア 平常時は環境学習の場として活用しながら、有事の際に地域防災に資する施設とする優れた提案があるか。 イ 災害時の対応等について、多目的広場を、災害に備えた防災空間として活用することをはじめ、施設内のみならず、地域住民の安全確保や地域への支援体制に資する優れた提案があるか。	3点	第13-2号様式 （2枚）
③ 円滑な災害廃棄物処理体制	ア 災害廃棄物の処理が可能な施設計画について優れた提案があるか。 イ 災害廃棄物の受入・処理体制について優れた提案があるか。	2点	第13-3号様式 （1枚）
6. 経済性に配慮した施設 事業期間及び事業期間終了後の市への引継後も含め、ライフサイクルコストの低減が実現する施設とする。		4点	—
① 維持管理の効率化と長寿命化対策	ア 維持管理における予防保全の徹底方法（点検・解析診断技術・計画修繕等）について、優れた提案があるか。 イ 運営・維持管理期間終了後の補修・更新費等を最小化するための工夫（設計・材料・構造等）について優れた提案があるか。（参考として運営・維持管理業務終了後10年間の補修・更新計画を第14-1-1号様式に示すこと。）	2点	第14-1号様式 （1枚）
② 効率的な運営体制と財務計画（長期収支の安定性）	ア 事業期間にわたり効率的かつ適切な運営・維持管理の継続を実現するための運営体制及び運営方針について、優れた提案があるか。 イ SPCの財務計画について、企業ガバナンス体制や経営の安定化策を踏まえ、事業期間を通じた長期収支計画の策定の合理性について、優れた提案があるか。 ウ 事業期間終了時の市への円滑な引継ぎ及び引継ぎ条件の確認について、本市による円滑な操業の継続を想定した工夫やバックアップ体制について、優れた提案があるか。	2点	第14-2号様式 （1枚）
7. 地域貢献に資する施設		4点	—
① 地域経済への貢献	ア 本事業における地元企業の活用方針（発注金額等）について、優れた提案があるか。（なお、具体の発注金額については、第15-1-1号様式に示すこと。）	2点	第15-1号様式 （1枚）
② 地域住民への情報提供	ア 周辺住民や市民に対する情報提供方法（施設の運転管理状況に関する情報）について優れた提案があるか。	2点	第15-2号様式 （1枚）
1～7の計（提案内容に関する審査項目）		50点	—
価格点		50点	—
合計（全ての加点審査項目）		100点	—

※原則として、各項目に対応する様式のみを審査対象とする。